

地元で根差した音楽を大切にしていきたい



金田 ^{みのる} 稔 さん (東根地区)

輝く地域の力

白鷹の未来を彩る

… 歌に秘めた力を伝えるために …

自ら作った歌で音楽活動を続けている金田稔さんにお話を伺いました。

始めたきっかけは

中学3年生の頃、ラジオから流れてくる吉田拓郎や井上陽水の歌を聴きながら音楽を楽しんでいました。あるとき、南陽市を代表する音楽家、須貝智郎さんともおのコンサートを観て感
激し、そこで自分が感じて歌つても良いんだということに気づかされ、自分でもやってみようと思つたことがきっかけです。その後ギター

をそろえ、須貝さんに師事しながら歌作りをさらに進めるようになりました。

楽曲について

発表しているのは20曲ほどですが、完成しなかつたものも含めると100曲を超えていると思います。息子が東根小学校に在学しているときに作った「宝山」という歌は、今でも歌い継がれているようにうれしく思います。

活動は

婦人会、老人クラブ、小学校、地域のお祭りなどから依頼をいただき、歌わせていただくことが多いです。また、東日本大震災の復興支援コンサートが全国で開かれる中では、白鷹町の担当として2019年まで開催し、募金の寄付などをさせていただきましたが、鮎貝地区で行われている「あゆかいご当地ソングプロジェクト

ト」に集まった歌詞の幾つかに、曲を付けています。

家族に感謝

私は三世代8人家族です。家でのギター練習はどうしても大きな音が出てしましますが、家族は理解してくれています。家族に支えられての音楽活動だと感謝しています。

今後は

昔は須貝さんとの関係でラジオ出演や、著名な芸能界の方との交流もあり、ちやほやしてもらつたこともありましたが、今は大きくなろうといった気持ちはありません。そして、「宝山」が20年を超えても歌い継がれていることに感謝し、地元で根差した音楽を大切にしていきたいと思ひます。要望をいただければどこにでも歌いに行きますので、よろしくお願ひいたします。



議会へひとこと

この町は子育てへの支援が充実していて、コミュニティセンター活動も活発であると感じています。それらを支えているのは、町当局はもちろん、地域の皆さま、議会だと思ひます。これからもさまざまな提言をお願ひします。

取材を終えて

自分の作った歌が地域で歌い継がれていることは、このうえない喜びだと思ひます。そして、歌には人を引きつける大きな力があると改めて感じました。(丸川)

編集後記



3月定例会では令和4年度の当初予算が可決されました。その中には、若者の活動を支援する取り組みがありますし、新たに生活を支援する制度も始まります。国や県による支援プログラムもあります。新成人の皆様にも積極的に活用いただき、白鷹町で生き生きと活躍されることを期待したいと思います。

成年年齢が4月から18歳に引き下げられました。織田信長の家督相続は一説によれば18歳だったそうですから、次の時代を担う若い感性や発想力に期待したいものです。(横山)

広報委員

- 委員長 菅原 俊一
- 副委員長・編集長 金田 悟
- 委員 丸川 雅春
- 委員 竹田 雅彦
- 委員 横山 和浩
- 印刷 (有)梅津印刷



お手持ちのパソコンやスマホ等で議会中継をご覧ください。録画でもご覧いただけます。

議会だよりのご意見・ご感想などを議会事務局までお寄せください。